

平成29年度事業報告

I 概要

1. 法人の概要

- (1) 設立年月日 平成9年6月18日
寄付行為の変更許可 平成11年6月3日
公益財団法人移行 平成24年4月1日

(2) 定款に定める目的

本財団は、国内におけるバイオテクノロジー関連の研究活動に対し助成するとともに、バイオテクノロジー技術の交流及び普及を図り、国内産業の育成及び発展に貢献することを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容

- ① バイオテクノロジー関連の研究活動に取り組む国内の団体又は個人に対する助成
② バイオテクノロジーに関連する研究会及び講演会の開催並びに研究諸団体への講師の斡旋
③ バイオテクノロジー技術の普及及び啓発
④ 前号までに掲げるもののほか、前項の目的を達成するため必要と認める事業

(4) 所管官庁

内閣府 大臣官房公益法人行政担当室

(5) 主たる事務所

長野県長野市大字南堀138-1

(6) 役員に関する事項

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
理事長	水野 雅義	非常勤	ホクト㈱社長
理事	藤澤 義章	〃	藤澤義章税理士事務所 税理士
理事	高藤 富夫	〃	ホクト㈱専務
理事	高波 謙二	〃	長野朝日放送㈱取締役
理事	石田 治	〃	㈱石田福祉サービス社長
理事	宮下 正典	〃	弁護士
監事	上野 紘志	〃	公認会計士
監事	水城 由貴	〃	公認会計士・税理士

II 組織運営

1. 理事会

平成29年度第1回理事会(平成29年5月12日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 平成28年度事業報告及び決算承認の件
- ② 平成29年度第1回評議員会の招集の件
- ③ 任期満了に伴う評議員候補者選任の件

平成29年度第2回理事会(平成29年5月29日 ホテル国際21)

- ① 理事長他選定の件
- ② 任期満了に伴う選考委員選任の件

平成29年度第3回理事会(平成29年10月30日 ホテル国際21)

- ① 平成29年度奨励金給付事業研究奨励金給付者及び給付金額選考の件
- ② 平成29年度奨励金給付事業研究奨励金贈呈式の日時の件
- ③ 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定の一部変更の件

平成29年度第4回理事会(平成30年2月19日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 平成29年10月期～平成30年1月期職務執行状況の報告

平成29年度第5回理事会(平成30年3月14日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 平成30年度事業計画承認の件
- ② 平成30年度収支予算承認の件

2. 評議員会

平成29年度第1回評議員会(平成29年5月29日 ホテル国際21)

- ① 平成28年度事業報告及び決算承認の件
- ② 評議員宮下正典辞任に伴う評議員選任の件
- ③ 任期満了に伴う役員改選の件

3. 監査会

監査会(平成29年5月8日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 平成28年度全期監査

Ⅲ実施事業 (平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

1. 平成29年度研究奨励金給付事業

・実施内容

平成29年5月よりバイオテクノロジーを主体とする生物科学に関する調査研究、技術開発に対する助成先を一般公募。募集期間4ヶ月で115件の応募があり、各選考委員による書類審査後、平成29年10月30日に選考委員会を開き、21件21名に対し助成金総額1,290万円を給付することを内定。同日開催の理事会において最終決定いたしました。全国各地、北海道から九州までの広範囲にわたる74機関の大学・研究施設からの応募となり、内容も大変厳しい選考となりました。研究奨励金給付事業も21回を数えるに至り、受賞者総数も累計397名、総額20,400万円となりました。

研究奨励金助成者一覧については別紙参照

2. 受賞記念講演会

・実施内容

平成29年12月1日長野市内のホテル国際21に於いて研究奨励金給付事業研究奨励金贈呈式を挙げていたしました。平成17年度の奨励金贈呈式より開催しております記念講演を、今回も受賞者を代表して4名の先生方に講演をしていただきました。

また、講演会終了後、懇親会において財団関係者と受賞者の皆様方同士親交を深めていただきましたが、中には今後の共同研究の話題が出るほど盛況な懇親会となりました。

・講演内容

演者：市村 創 先生（信州大学 医学部 外科学講座 外科学第2心臓血管外科部門 医員）

演題：iPS細胞由来心筋細胞を用いた心筋再生療法の開発

座長：勝山 努 選考委員長（丸子中央病院 院長・信州大学名誉教授）

演者：伊藤 聡美 先生（国立研究開発法人理化学研究所 統合生命医科学研究センター 研究員）

演題：ストレスが腸内細菌叢変化を介して老化に伴う代謝に及ぼす影響の解析

座長：下坂 誠 選考委員（信州大学繊維学部 学部長）

演者：杉田 亮平 先生（東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻

放射線植物生理学研究室 特任助教）

演題：きのこにおける元素動態のライブイメージング

座長：藤田 智之 選考委員（信州大学 農学部 学部長）

演者：有馬 寿英 先生（県立広島大学 生命環境学部 環境科学科 助教）

演題：黄麹菌 *Aspergillus oryzae* の *gatA* 遺伝子に関する研究

座長：稲富 聡 選考委員（ホクト(株)取締役 きのこ総合研究所所長）

3. きのこの観察会及び鑑定会

・実施内容

1. 日時 平成29年9月27日（火）～9月28日（水）

2. 開催地 長野県北安曇郡小谷村中土 鎌池周辺

3. 参加人数 36名（一般参加者29名、講師1名、財団関係者6名）

（農業・工業学誌及び新聞で参加者を募集）

平成29年9月27日、28日、長野県北安曇郡小谷村中土においてきのこ観察会を実施いたしました。天気が崩れることが予想されたため、急遽観察会を27日に行いました。さわやかな空気のもと参加者は森や湖畔など思い思いの場所できのこを観察いたしました。

2日目の雨飾荘での勉強会では、千葉県立中央博物館・農学博士 吹春俊光先生を講師に迎

え、勉強会を開催しました。スライドやレジュメを使い、きのこの生態上の分類方法についての分かり易い説明から、きのこの生態の不思議さ・環境との共生関係など詳しくお話しいただき、参加者との活発な意見交換もなされました。午後は、吹春先生を中心に鑑定会を行い、イグチ、テングタケ、ベニタケを中心に約 150 菌種が判別されました。参加者は写真に収めたり、積極的に質問を行っていました。なお、鑑定を行ったきのこは国立科学博物館に鑑定データと共に乾燥標本として寄贈する取り組みも行っております。今回のきのこ観察会で 19 回になりますが、同じ季節でも、地域、気候、植生の異なる場所で、様々なきのこが鑑定され毎年充実した会となっております。今後も継続して交流の輪が広がっていくことを期待したいと思います。

観察会目録については別紙参照